

⑫ 公開特許公報(A)

平3-169967

⑬ Int. Cl.

E 04 F 15/02
15/04
15/16

職別記号

庁内整理番号

G 7805-2E
B 7805-2E
F 7805-2E
E 7805-2E

⑭ 公開 平成3年(1991)7月23日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 置敷き床材

⑯ 特 願 平1-306911

⑰ 出 願 平1(1989)11月27日

⑱ 発 明 者 林 守 男 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑲ 発 明 者 山 崎 清 好 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑳ 発 明 者 峰 岸 康 之 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
㉑ 出 願 人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地
㉒ 代 理 人 弁理士 石田 長七 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

置敷き床材

2. 特許請求の範囲

(1) 床下地面上に敷敷される置敷き床材であって、柔軟性を有するシート状の合成樹脂成形品製の基材の表層に薄い木質化被覆が被覆され、基材の一側端に嵌合突部が形成され、他側端に嵌合突部が嵌合することができる嵌合凹所が形成され、嵌合突部と嵌合凹所との一方に放止の突部が形成され、他方に放止の突部が係入して放止めを因る放止め凹所が形成されて成ることを特徴とする置敷き床材。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、モルタル、コンクリート等により仕上げられた床下地上に直接に敷敷される置敷き床材に關し、詳しくは木質の表層を有しながら、木質系における腐りを阻絶し、滑み性も付与し、か

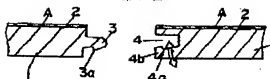
かる構成のものを製作容易に得るとともに、その施工において放止めを行う放止め構成も容易に形成しようとする技術に係るものである。

〔従来の技術〕

従来から、モルタル、コンクリート等により仕上げられた床下地上に敷敷される木質床材は知られている。例えば、第4図に示す如く、木質木板1のような木質基板1aの表面に被覆層の部bを被覆し、両面にタッショング1cを貼着してなる木質床材Aaが知られている。ところでこのような木質床材Aaは、床下地上に被覆成いは何らかの施工等により固定されて敷敷施工されるものであり、部bとタッショング1cによって、防音効果を得られるものである。しかしながら、このような木質床材Aaにおいては、部bが除去されているものの、木質基板1aには周面柔軟性がなく、充分な周面柔軟性を有するために、部bの被覆領域を増やしたり或いは部bの厚さを強く形成した場合には、部bに対応して木質化被覆2の表面に亀裂が発生し、強度及び表面状態に問題となるものであ

- 1—基材
2—本質化被膜
3—合金突部
3a—合金突部の突部
4—合金凹部
4a—合金凹部の凹部

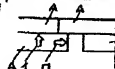
第1図



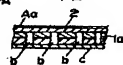
第2図



第3図



第4図



第5図

